

防災対策と事業継続の最高ランク取得 日本政策投資銀行「DBJ BCM格付」で

京葉ガスは、株式会社日本政策投資銀行（DBJ／本店：東京都千代田区、代表取締役社長：橋本徹）が行っている事業継続対策などに関する格付け融資制度において、最高ランクの評価を取得しました。

当社は東日本大震災の経験を教訓に、地震災害対策を中期経営計画（平成 25～27 年）の重点課題として位置づけ、全社的な防災・事業継続体制構築への取り組みを加速させてきました。今般、この取り組みが評価され、同行の「DBJ BCM(※)格付」融資制度において最高ランクの評価を取得しました。

同制度は、同行が開発した独自の評価システムにより防災および事業継続対策への取り組みの優れた企業を評価・選定し、その得点に応じて融資条件を設定するもので、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。当社のBCM格付の取得は、関東の都市ガス事業者として初となります。

今回の格付け審査では主に以下の点で高い評価を受けました。

- (1) 首都直下型地震の被害想定を踏まえて、ガス導管の耐震化・液状化対策に代表される設備対策を計画的に推し進めている点
- (2) 千葉県産天然ガスの調達を含めたガス調達先の分散および供給網のネットワーク化をはじめとした体制整備により、供給寸断リスクの低減に努めている点
- (3) 有事に継続すべき重要業務を全社ベースで選定した上で、事業継続に不可欠な経営資源の洗い出しや水準の算定を部署ごとに行い、早期復旧戦略の精緻化に向けて取り組んでいる点

当社は今後も地震災害をはじめとする防災対策に力を入れ、引き続きガスの安定供給と保安の確保に向けた取り組みを強化していきます。

※BCM:事業継続マネジメント(Business Continuity Management)



「DBJ BCM格付」の認定マーク

